

事前講義の感想

- 核融合について初めて知ったが、核分裂とは全く違って、核というもののイメージを変えるものになった。
- 講義の内容は少し難しいものでしたが、プラズマボールなどで実際に目で見ることで分かりやすかったです。
- 原子力の問題もあってエネルギーが注目されているだけに、核融合などの新しいエネルギーを考えていくことも大事だと思う。
- プラズマは小さすぎて目に見えないと思っていたので、変化とか現象を実際に見ることができておもしろかった。
- 「核」という言葉からは怖い事しか想像できなかったが、可能性もあるということが分かって、単に怖がっていた今までよりも、考えさせられたし、興味が増した。
- 核融合を研究するという事は、エネルギー問題や環境問題も関わってくるのが分かり、幅広い分野だと思った。
- これからのエネルギー問題で、世界では長期についての目標とかを立てているけれど、もっと短期とかに目を向けるべきだと思った。
- 自分の中でやはり「核」という言葉のつくものには抵抗があるけれど、核融合は原子力とは全く違うし、安全性が高いことも今回初めて知った。新しいエネルギーとして本当に期待ができると思う。今までより気をつけて核融合についてニュースなどがあったら見てみたいと思った。
- プラズマは身の回りから程遠いものだと思っていましたが、結構いろいろな所に使われていて驚きました。



実習・見学の感想

- 電子を飛ばす装置以外にも面白い装置がいろいろあって不思議だということも多かった。
- 1億度と絶対零度近くの温度が鉄板をはさんでその場にあるということに驚いた。
- 実験装置は思っていたよりも規模が大きくて驚いた。見学したときに出てきた単位や大きさは聞いたことのないようなものばかりで実験のスケールの大きさが実感できた。
- 目で見てわかるシミュレーションの体験ができて良かったです。
- プラズマとかを作るのにあんなに大きなものが必要なのだと思うと作った人をすごいというしかなかった。あれだけの量と大きさなものが1つでも抜けたら駄目なのかと思うと、核融合の複雑さを感じた。
- 維持するだけでも莫大なお金がかかるがそれだけ使うほど、LHDによるエネルギー貢献が期待されているのだと思う。
- 大型ヘリカル装置の形も不思議で、まるで芸術作品みたいでした。複雑な構造を作る技術が日本にあると思うと、改めて科学・工業技術はすばらしいと思いました。
- 誤差を確かめるのだけでも大変で、実験することのすごさが分かった。
- 自分たちで考え続けて何度も実験を繰り返す楽しさを味わうことができました。
- 一番いい方法を考える家庭がすごく面白かったです。説明が分かりやすく、ムービーで見たことでより理解を深めることができました。
- 超伝導現象の仕組みやそれを応用することでできることなどがとても良く分かる実験で、面白かったです。
- 実験から見学までなるほどの連続で楽しかった。質問すると分かりやすい答えが返ってくるし、実験は特に驚くことが多かった。
- 今まで何気なく見ていた光にも実は色々な光があって、合わさった色を自分が見ていたということや、自分から電磁波が出ているなど、驚きおもしろいことばかりでした。

